



【表紙写真】

感染予防のため、手水舎の使用を控えてもらう代わりに、手水鉢に花を浮かべた「花手水」をする寺社が増えています。東京・早稲田にある法輪寺では、境内の至るところに花手水が置かれ、参拝者の癒しの場に。たくさんのお花からは、住職の「おもてなしの心」が伝わってきました。
萬年山 法輪寺（東京都新宿区西早稲田1丁目1-15）

表紙になるかも？

あなたの写真で全国に温もりを届けてみませんか

『小さな親切』誌では、下記のテーマの写真を募集。お写真は本誌やWebサイトに掲載するほか表紙に使用させていただく場合があります。採用された方には、粗品をプレゼントいたします！

- 親切な風景
- あなたの街の素敵な風景
- あなたのほっとする場所

＜申込方法＞

- お写真は紙焼きではなく、下記の方法でデータでお送りください。

【メール添付】 skm1963@kindness.jp

【DVDなどを郵送】

〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町2-20-4
公益社団法人「小さな親切」運動本部 写真募集係

＜注意事項など＞

- 写真のサイズ：（スマホの場合）800KB以上
（デジタルカメラの場合）3,456 × 2,304ピクセル以上
- 人物がうつっている場合は、肖像権の侵害がないようご配慮ください。
- 他のコンテストなどへの応募作品はご遠慮ください。

「小さな親切」誌は、季刊発行

春号・5月、夏号・8月、秋号・11月、新春号・1月の予定です

2022年5月1日発行 通巻526号

編集・発行人 鈴木恒夫

発行所 公益社団法人「小さな親切」運動本部
〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町2-20-4
TEL.03-3263-2866 FAX.03-3263-3838
https://www.kindness.jp/

印刷所 広研印刷株式会社

©無断転載禁止 落丁、乱丁はおとりかえいたします。



よわい
年齢

80歳を過ぎてから、急速に私の胸の内をよぎるようになった言葉、それが「義理を欠く」という言葉だ。自動車運転免許証を自主返納したこともあって、行動力が落ち、読み書きすることが減少、思考力の低下などなど、「義理欠き」の原因は様々だ。

まだ若かった毎日新聞の政治記者の頃。首相官邸記者クラブ詰めの私が、たまたま当時の内閣官房長官・後藤田正晴氏と二人だけで会うチャンスがあった時のこと。後藤田長官が、話している途中で突然、官邸の天井をボーッと見上げながら、こう言った。

「オレもトシをとってサ、義理を欠いてばかりいるようになったヨ。」

官僚時代、そして政治家になってからも、その明晰な頭の切れの鋭さから、「カミソリ後藤田」の異名が永田町を走り回っていた人の一言。具体的に何がこの言葉を口にさせたのかは、私の記憶にないが、いまだにその時の長官の顔が思い浮かぶ。

そ

んな私を、驚がくさせたことが昨年末に起こった。年を追うごとに、年末の喪中ハガキが多く届くようになったのも「トシ」のせいだが、この一通はことのほか、私の胸を心底から、打ち砕くものだった。

『夫 光廣が11月8日に80歳で永眠いたしました』。

藤村光廣君。彼は小学校の高学年から同級生となり、中学校から横浜翠嵐高校まで一緒。日本歯科大に進んで、父親のあとを継ぎ歯科医に。医院は拙宅から私鉄で一駅のところであり、私は4年くらい前だろうか、上の奥歯が虫歯になって噛めなくなり、旧友の治療を受けた。

「もう、思い切って5本の歯を金具でつなぐ入れ歯にするよ。」

そう藤村君は言って、見事な入れ歯をつくってくれた。奥様も、ご子息も一緒に治療台を並べている医院。私はご一家に感謝の気持ちを……と、すぐ近くにある八百屋さんから果物を買ひ、土産にして通院したものだった。この八百屋さんも、実は中学までの同級生の店。しかし、彼はとっくにあの世に。

藤

村君のつくってくれた入れ歯は、ほんとうに見事なもので、私は食事のあとに必ず丸ごと外し、歯ブラシで磨き上げて、また口の中へ戻す。一日に3回は必ず磨き上げるから、奥様からのハガキの後はその度に、「藤村君、ほんとうにありがとう」の言葉が……。

ただ、正直に言うと、私はほんとうにダメな男。病院通いなどが多く、冒頭に書いたように行動力も落ちる一方で、いまだに彼のご霊前に参上していないのだ。これを「義理を欠く」「恩知らず」と言わずして、すむものか。

「藤村君、申し訳ありません。なにとぞ、お許しを……。そのうち、少しでもほめていただくようなことができれば、ご挨拶にあげますから……」。

「義理を欠く」悩み、に苦しみ

代表
鈴木恒夫